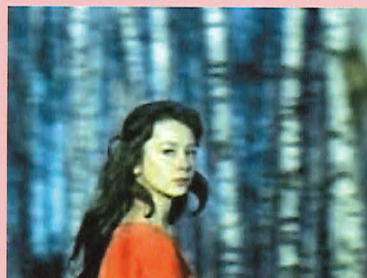


ロシア映画を研究する会 キノエクラン6月例会
エミーリ・ロチャヌー監督・脚本 / アントン・チェーホフ原作

映画 狩場の悲劇

Мой ласковый и нежный зверь

チェーホフ原作の長編小説を映画化
美しい娘を巡り愛と犯罪が交錯するサスペンス・ロマンの傑作



1978年、ソ連、100分、撮影：アナトリー・ペトリツキー、美術：ボリス・ブランク、音楽：エウゲニー・ドガ、出演：ガリーナ・ベリャーエワ、オレーグ・ヤンコフスキー、キリール・ラブロフ、レオニード・マルコフ

荒廃の漂う地方の田園生活を背景に、19歳の美しい娘をめぐる愛と犯罪が交錯するサスペンスロマン。その奥には叙情性豊かな短篇と戯曲で人間心理の微妙さを描いたチェーホフ独自の作風が伺える。

作品上映後：日本ユーラシア協会 宮城県連合会事務局長 移川仁さんの解説あり

6/26(日) 14:00~

仙台国際センター
1階研修室

参加費 500円 (資料代含)

仙台市青葉区青葉山 TEL022 - 265-2211

主催：日本ユーラシア協会宮城県連合会

共催：右岸の羊座 問合せ 070-5326-1974 大越まで